

その一周は、
忘れられない旅となる

日本海に浮かぶ周囲約60kmの利尻島を、のんびり自転車で巡りませんか？角度によって変わる利尻山の姿、奇岩が続く海岸、美しい湿原、様々な動植物との出会いなど、この島の道のはいつも雄大な自然の中です。途中、資料館や博物館で島の歴史に触れたり、海岸で昆布干しの風景に出会ったりと、利尻島一周は忘れられない旅となります。

撮影地：利尻・彩くるロード（利尻町栄浜）
撮影日：7月21日

利尻島

港から始まる小さな自転車旅

礼文島でのおすすめはフェリーターミナルからのショートサイクリング。この日は香深のまちから新桃岩トンネルを越え、地蔵岩、桃岩、猫岩など、西海岸の景勝地をめぐるしました。礼文島の爽やかな海風を感じながら、すぐ近くの絶景に会いに行きませんか？

※島内は道幅が狭い箇所が多いため、走行の際はお気をつけ下さい。
撮影地：元地海岸地蔵岩（礼文町）撮影日：8月3日

礼文島

果てしなく続く
絶景ロードを走る

短い観光シーズンの間、多くのサイクリストたちが天塩町と稚内市を結ぶ道道106号線を通り、日本のおてっぺんを目指します。ここは広大なサロベツの中でも、日本海と利尻山の島影を望むまさに絶景ロード。8月上旬、海側の牧場には牧草ロールがゴロゴロと転がり、そこには自然と人の暮らしが共生する風景が広がっていました。

撮影地：道道106号（豊富町稚咲内）撮影日：8月6日

サロベツ



北海道地方環境事務所では北海道の国立公園などで、活躍するアクティブレジャーの活動を紹介する「アクティブレジャー」日記も配信しています。左のQRコードからご覧ください。



「国立公園たより」とは、日本最北の国立公園利尻礼文サロベツ国立公園で働く環境省のスタッフが季節ごとのとっておきを皆様にお届けする広報誌です。

※バックナンバーは左のQRコードからご覧になれます。

発行：環境省稚内自然保護官事務所